

3学年通信

能美市立根上中学校
令和4年(2022年)
11月17日(木) No.23

「文化祭を振り返って②」

何事も取り組む「過程」の大切さに気付いた、という感想が多かったですね。このクラスでの、中学校生活での時間も残り少なくなりました。過程を大切に日々の生活を充実させていきましょう。



文化祭で心に残っているのは合唱コンクールです。3の3は「群青」を歌いました。僕たちのクラスは、前日まで声が小さいという欠点があり、皆に声が届かないのではないかと心配でした。というのも、音楽室での練習、リハーサルでは全員が歌っていない、声に気持ちがこもっていない等と言われていたからです。でも、本番直前の練習で今までにない最高の歌声だったので、あとは普段通り歌うだけという状態で臨みました。他の学年、クラスの合唱はとても良く協力し合っていたし、いい歌声でとても緊張しましたが、今までにない一番良い歌声で「群青」を歌い切ることができました。伴奏者の宮本さんと指揮者の佐野さんがいいテンポ、リズムでクラスを引っ張ってくれたからだと思います。最優秀賞をとることができてとてもうれしいです。クラス目標であった”空に響け”は達成できたと思います。校長先生もおっしゃっていましたが、賞をとることよりも合唱コンクールまでの過程の方が大事なので、そこをしっかりとしていこうと思います。文化祭を通して、仲間の大切さに気づきました。(3組男子)

文化祭は、僕個人のものではなく、クラス一体となって行うもの。その中で僕は何を残し、何を受け取って成長することができたのかを考えてみました。一番のイベントは合唱でした。どのクラスもほぼ均等に分けられた練習を積み重ねて作り上げる合唱は、一組にとって最大の成長点だったと思います。具体的なところとしては、”全員が歌に向き合って声を出し、男性パートを完成させる”同じように女子も”ハーモニーに気を付けて歌う”といったところです。僕が思うに、クラスで歌う真骨頂は、最優秀賞を受賞することであたり、きずなを深めることだったりすることもあると思います。しかし、それよりも、苦手な人も歌に挑戦し、全員で努力し歌を作り目標に向かって走り続ける、という気持ちでいることも大切なのだと思います。結果的に今回の合唱コンクールは入賞できず、少し心残りがあるかもしれませんが、振り返ってみると目標以前にスタートラインに立とうとする姿など、数々の軌跡があります。この経験もその軌跡に加わり、これからの人生の土台になるのだと、この文化祭で気付くことができました。(1組男子)



中学校最後の文化祭、とても楽しかったです。中学生になって初めて二日間にわたって行い、一日目の合唱コンクールはタントで行ことができました。私は伴奏を担当し、夏休みから練習を頑張りました。みんながどうやったら歌いやすくなるか、音の大きさ、指揮者と合わせることに苦労しました。でも、みんなが「がんばって」、「上手だったよ」と言ってくれて、がんばろうと思えし、もっと練習しようという気持ちになりました。本番はもちろん、練習でもとても緊張していただけれど、本当にみんなのおかげでがんばれたので感謝の気持ちでいっぱいです。最優秀賞や優秀賞という目標は叶えることができなかったけど、最後は今までの練習の中でも一番上手だったと思います。タントで歌えて、みんなの伴奏ができてよかったです。

二日目の吹奏楽部の演奏や、バレエ、ドラム、ピアノなどの一芸披露もとても素晴らしく、楽しかったです。そして先生方への歌のサプライズは大成功だったと思います。途中でピアノの弦が切れるハプニングもありましたが、先生方に感謝の気持ちを少しでも伝えられたと思います。この文化祭を通して、「協力する力」や、結果も大切ですが「過程」が大切だということを学びました。校長先生もおっしゃっていたように、これから受験に向けて過程を大切に、みんなで協力して受験勉強をがんばっていきたいです。最後に、前から沢山用意してくれた生徒会のみんなや先生方、そして1組のみんな、川原先生、楽しい時間をありがとうございました。一生の思い出になりました。(1組 女子)

文化祭で心に残っていることの一つ目は、部活動での展示です。私は茶華道部なので花を活けて飾りました。私はザ・オレンジ!!!という感じの花をいけました。実はみんなが選んだ後に余った花だったのですが、華やかでとてもキレイだと思いました。他の部員たちはその人らしい作品を生けていたのに、私に似ても似つかない作品ができあがり、「実は私ってこういう人間なのだろうか。」と思いました。太陽のような華やかさや、すさまじいエネルギーを感じ、本当に私にこんな一面があるのなら潜まずに出てきてほしいとも思いました。他の部員の作品は、モダンなものや神秘的なもの、かわいらしい感じのものなどそれぞれ個性があっていいと感じました。

二つ目は合唱です。たくさん声を出して歌うことができました。練習の時から大きく美しい声で歌えるよう意識して歌っていたので、そこそこ上手く歌えたのではないかと思います。アルトは他のパートよりソプラノや男声に引っ張られやすいですが、アルト同士の声をよくきくことで引っ張られずに歌うことができました。最優秀賞や優秀賞はとれなかったけど、頑張れたし、やり切ることができたので、悔いはないです。

他にも学校クイズやモニュメント作りなど楽しいことが多くていい行事になりました。(5組 女子)



合唱コンクールの結果としては、最優秀賞も優秀賞もとれず、とても悔しい思いでいっぱいです。しかし、校長先生もおっしゃっていたように、ソプラノのメンバーと、クラスのみんなと歌って練習してきた日々はとても楽しかったし、いい思い出として残りました。私はソプラノリーダーとしてメンバーと一緒に頑張ってきました。ソプラノの練習では一人ひとりのやる気があふれていて、みんなで改善点を話し合ったり、「伴奏だけでやってみよう」「まず、ハミングで歌ってから2回目やろうか」など、提案に真剣取り組んでくれたりして、本当に嬉しかったです。また、クラスで合わせる場面での、あの一体感ははっきり覚えています。まとまった瞬間が幸せで、すこしうるっとしました。

モニュメント作りも楽しかったです。「赤足りんわー!!」「おっけ、持ってくる!!」「いいねいいね!!」など、全員で協力していける、5組の良さが出た時間でした。

一芸披露でのピアノは感動したし、ドラムは盛り上げ上手で、個人的にはMVPだと思いました。改めて文化祭を企画した生徒会のみなさんや先生方とクラスのみんなに感謝を伝えたいです。これぞ青春って感じがして、もう幸せの一言に尽きます。(5組 女子)